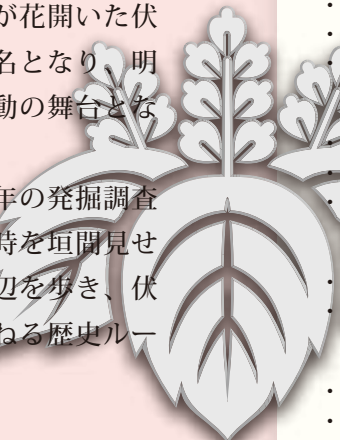


伏見桃山

伏見城跡を歩く

豊臣秀吉の天下の夢舞台である伏見城は、徳川家康が江戸に幕府を開くと取り壊されて、跡地は桃畑となり明治維新を迎えます。慶長文化が開いた伏見は桃山の名も冠した地名となり、明治維新には歴史変革の激動の舞台となりました。

壊された城下の痕跡は近年の発掘調査の成果でよみがえり、往時を垣間見せてくれます。伏見城跡周辺を歩き、伏見城と町並みの今昔を訪ねる歴史ルートをご紹介します。



〈京都市内の伏見城伝承遺構〉

- 〈東山区〉
 - ・豊国神社 唐門
 - ・養源院 血天井
 - ・高台寺 茶室
 - ・長楽寺 本堂
 - ・円徳院 本堂
- 〈伏見区〉
 - ・御香宮神社 大手門
 - ・醍醐三寶院 唐門
 - ・崇春寺 総門
 - ・源空寺 山門・大黒天
- 〈左京区〉
 - ・宝泉院 血天井
 - ・南禅寺金地院 方丈
 - ・寂光院 雪見灯籠
- 〈下京区〉
 - ・西本願寺 唐門
 - ・正行院(猿寺) 本堂
- 〈北区〉
 - ・正伝寺 方丈・血天井
 - ・源光庵 方丈・血天井
- 〈上京区〉
 - ・観音寺 山門
- 〈右京区〉
 - ・二尊院 総門



ふしみのみやまじょう 伏見桃山城
1964年に建てられた、コンクリート造りの模擬天守閣。この場所は御花畑山荘のあったところと推定されており、実際の伏見城天守閣のあった位置とは異なっています。(天守閣は現在非公開です)



城跡から出土した石材



このみやまじんじや 御香宮神社
清和天皇より「御香宮」の名を賜ったと伝わる神社です。桃山時代の本殿は、徳川家康により建立されました。表門は旧伏見城の大手門の遺構といわれ、境内には秀吉を祀る豊国社と、家康を祀る東照宮の両社があります。



伏見城跡残石

伏見寄り道ルートの見どころ

伏見城の外堀であった濠川(ほりかわ)周辺は、京都市条例の伏見南浜界外い景観整備地区に指定される美観地区です。伏水に恵まれた酒造りの伝統的な酒蔵等もあり、明治維新ゆかりの地や、大坂からの水路として、交通の要衝の運河発着場の雰囲気を残しています。余裕があれば、伏見城下や明治維新の人々の歴史を思い描き、歩いてみてはいかがでしょうか。



げんくうじ 源空寺
徳川家康によって伏見城内のこの地を寄進された寺院。二層からなる珍しい山門は、伏見城築城のときに移築された遺構と伝われます。また、寺宝の「朝日大黒天」は、元伏見城裏門にあった豊田秀吉の持念仏で、秀吉に天下統一の大福を授けたといわれています。



ちやうじんじ 長建寺
本尊を八臂(はっぴ)弁財天とするため、「(中書)鳥の弁財天」として親しまれ、運財宝・良縁を求める参拝者で賑わっています。



このみやまじんじや 御香宮御旅所
伏見築城にあたり、秀吉が城内鬼門除けの神としてここに遷宮しました。秀吉の没後、家康が城下町の人心安定のため、再び元の地に戻したことから古御香宮(ふるごころ)と呼ばれ、今は御旅所になっています。鳥居脇や境内にも、伏見城の石材が置かれています。



えいしんじ 米春寺
総門は伏見城の遺構といわれ、本堂裏手の墓には伏見城の土壁の一部も遺っています。



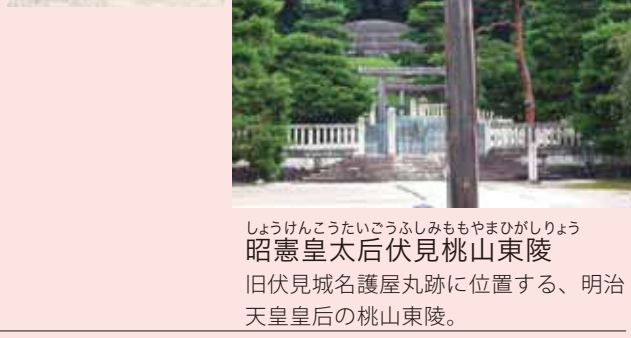
めいじてんのうらふしみのみやまじょう 明治天皇伏見桃山陵
230段ある長い階段を上ったところにある、明治天皇の陵墓。旧伏見城の本丸は、このあたりにあったといわれています。



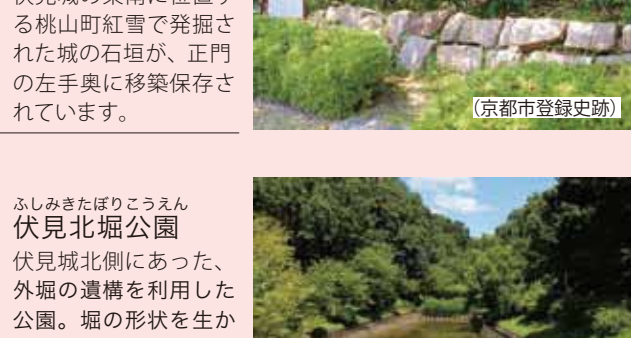
しょうげんこうたいごうふしみのみやまじりょう 昭憲皇太后伏見桃山東陵
旧伏見城名護屋丸跡に位置する、明治天皇皇后の桃山東陵。



ふしみのみやまじりょう 伏見城石垣
(桃山東小学校内)
伏見城の東南に位置する桃山町紅雪で発掘された城の石垣が、正門の左手奥に移築保存されています。



ふしみたけりこうえん 伏見北堀公園
伏見城北側にあった、外堀の遺構を利用した公園。堀の形状を生かし、中段に武者走りをはじめ、細底には広場や池などが整備されています。



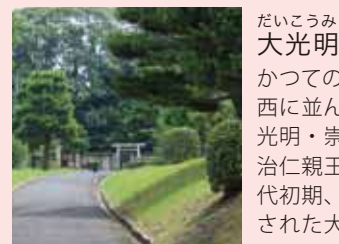
もみやまじりょうさんどう 桃山御陵参道
玉砂利と杉木が美しい参道(上写真)南側に並べられた伏見城石垣の残石(右写真)。大きな石にミジン目のように残っている窪みは、石を切り出すための鑿であけた矢の痕です。



のぎんじや 乃木神社
徳川家康の屋敷跡に、明治天皇御前際に殉死した陸軍大将乃木希典(まれすけ)を祀るため、1916年に創建されました。本殿は明治天皇陵を鎮護するという意味から、北に面して建てられています。



舟入の跡が、南北約300m、東西約90mの窪地となって残っています。



だいきょうりょうりょう 大光明寺
かつての大光明寺内に東西に並んで築造された、光明・崇光両天皇と皇孫治仁親王の陵墓。室町時代初期、この辺りに建立された大光明寺は、伏見築城の際に相国寺に移されました。